



<野外活動を再開しました>

4月より感染防止対策を講じながら、野外活動を再開しました。活動に参加する方は、以下の感染防止のためのお約束を守ってください。

感染防止のためのお約束

- ・少しでの体調が悪いときは参加を控えてください。
- ・活動時や昼食時は、距離を保つよう各自意識してください。
- ・受付時、昼食時、終了時などアルコール等で手指を消毒してください。(アルコールは会で用意。)
- ・マスクの着用をお願いします。

なお、感染拡大状況によっては再び中止することもあります。その時はあらためてお知らせします。

【活動報告】

<下大和田での活動>

報告：網代春男

第261回 YPP「苗床作りと種まき」 2021年 4月 3日(土) 晴

今日は初めて田んぼに入ります。大人も子どもさんもまずは浅い田んぼへ入って歩く練習から始めました。少し慣れてから大人は深い田んぼに入って苗床づくりです。足の抜き差しに苦労しながらまんのうで土を寄せ苗床を作りました。次は種籾まき。水に浸して芽出しをしてきた種籾をお子さんも加わって苗床に蒔きました。蒔いた後、手の平でペタペタ軽く押さえました。柔らかい苗床をペタペタする感触が楽しく、ついやり過ぎて苗床が低くなってしまった所も出来てしまいました。お昼休みには集合写真を撮りました。シャッターを押すときだけマスクを外して撮りました。午後は種籾を蒔いた苗床にシートを張り、今日の作業を終わりました。

参加 47名(大人 8名、大学生 2名、小学生 13名、幼児 4名)

第255回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い 2021年4月4日(日) 晴

まずは林内から巡りました。ヤマザクラはほとんど散っていました。ウラシマソウ、クサイチゴ、フデリンドウ、などが見られました。樹木が皆伐された台地上は乾燥していましたがタチツボスミレ、オニタビラコ、コハコベなどが咲き、コナラのどんぐりが割れて芽を出していました。サンショウの新芽を口に含んで爽やかな香りや味を楽しんだりしました。青くきれいになったホソミオツネトンボも林内で見られました。

田んぼの縁へ降りて土手に咲く花を見ました。ここだけで 20種類以上の花が咲いています。その中のギンギシの葉にはコガタルリハムシの成虫や幼虫がいて、葉がボロボロになるほど食べていました。カラスノエンドウにはソラマメヒゲナガアブラムシがビッシリついていました。いち早く出現するツマキチョウがセイヨウタンポポに止まってくれ、みんなでしっかり見ることが出来ました。飛んでいる姿は一見モンシロチョウに見えますが雄の前翅の先に名前由来の黄色い紋があります。羽化間もないシオヤトンボ、ニホンカワトンボもいました。



谷津を巡りながら所々入れたたも網にはメダカ、タモロコ、ホトケドジョウが入っていました。シュレーゲルアオガエルの大合唱、ウグイスの囀りの中、たくさんの動植物に出会えた観察会でした。

参加 18名(大人 13名、高校生 1名、小学生 4名)

森と水辺の手入れ「コナラの実生探し」 2021年 4月18日(日) 晴

台地上の樹木が昨年秋に皆伐されて裸地になったところに、コナラの実生が出てきました。まだ、どんぐりがついています。この実生を育てることにし、刈ってしまったたり、踏みつけたりしないように目印を立てることにしました。まずは、のこぎりを持って、目印にする竹切りです。アズマネザサが茂っているところへ行って2~3mの長さに切り出しました。

次に切った竹を台地上に運び、コナラの実生を探し、目印として傍らに立てました。秋になったらクヌギやコナラなどのどんぐりを植えて育て、雑木林を再生したいと思っています。

参加 17名(大人 12名、中学生 1名、小学生 3名)

<小山町での活動>

報告：たんぽぽ

☆4月期は第1週までに全ての苗代作りを終えることが出来ました。以降、大切な稲の育苗期間となります。小山の田んぼは水源に近く、田毎に水回りと保水の特徴も異なるため、水管理にはとても気を使います。また、陽気

については、3月下旬より暖かな日が続いていたものの、4月初旬より10日程寒の戻りがあり、苗の成長に不安がありました。そこで、今季は秘密兵器、育苗シートを導入しました。水温が低く、毎年、成長が遅めになる、大椎小田んぼの苗代に覆いを施しました。4月11日より10日間でしたが、順調な成長を確認し、24日にシートを除去しました。以降、田植えまでの期間、しっかりと根を張ってくれればと見守る日々です。

第192回 小山町YPP「苗代作りその2」 2021年 4月 4日(土)

暖かな南よりの風の強い日でした。日差しはありましたが、曇りがち、それでも少し動くと汗ばむ陽気でした。あざみ谷に緑米の苗代を、あかがえる田んぼに予備のコシヒカリの苗代を作りました。午後からは天気が崩れ、雨も降る予報でしたが、午前中に全ての作業を終えることが出来ました。あざみ谷は日照も短く、水温も冷たい田んぼですが、じっくりと立派な苗に育てて欲しいと願いました。参加3名(大人3名)

☆令和3年度期 小学校田んぼ体験学習の日程決定

社会的にはコロナ禍第4波の来襲が心配される中ではありましたが、令和3年度期、大椎小、あずみ小、それぞれの田んぼ体験学習の予定が定まりました。コロナ禍に入って実施された、前年度の実績を基に、感染拡大回避への配慮を確認するとともに、具体的な実施要領を各校にて説明、ご理解を頂きました。なお、水源に近く、水温が低めである大椎小の田んぼについては、田植え時期を5月中旬前に設定頂き、稲刈りまでに十分な期間をとれるように計画しました。なお、前述の通り、大椎小田んぼの苗代については育苗シートを導入し、早目の田植えに向けて順調に成長している様を感じています。

【谷津田・季節のたより】

下大和田町 4月 4日 ニホンカワトンボ出現 **報告：網代春男**

4月12日 ヤマカガシ出現。

4月20日 ハクビシンがアライグマ捕獲用罠にかかる。ハクビシン捕獲は初。

小山町 4月初旬～中旬 ウグイスの囀り、シュレーゲルアオガエルの声が盛んに響き渡る田んぼに、アオジの群れが飛来、ルリビタキ、モズも時折確認されます。キジや、リンドウ広場に訪れるイタチも間近に観ることがありそれぞれ活発な活動を思わせます。4日にはリンドウ広場にハナカイドウの可愛いピンク花が開花しました。

4月下旬 今年もカルガモ番が小山の田んぼに飛来。苗にいたずらしてくれないことを願うのみです。 **報告：たんぼぼ**

【イベントのお知らせ】

<下大和田谷津田>

・第262回 下大和田YPP「田おこし」、第263回 下大和田YPP「田うえ」

日時：田おこし 5月8日(土)、田うえ 5月15日(土) 9時45分～15時 小雨決行

持ち物：マスク着用、長袖長ズボンの服装、田んぼ用長靴、帽子、ゴミ袋、飲み物、弁当、敷物。

参加費：米づくり年間参加者以外300円(小学生以上)

・森と水辺の手入れ

日時：2021年 5月15日(日) 9時45分～12時 雨天中止

持ち物：マスク着用、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、軍手、午後まで活動する方は弁当、敷物。

参加費：無料

・第257回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

初夏の花や生きものを観察しながら谷津を巡ります。

日時：2021年 6月 6日(日) 9時45分～12時 雨天決行

持ち物：マスク着用、筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴(通常の)、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物

参加費 100円(小学生以上)

<小山町谷津田>

・第193回 小山町YPP「こしひかりの田植え」

小学校田んぼの田植えに引き続き、YPPたんぼ、今季最初田植えが始まります。

日時：2021年 5月15日(土) 10:00～ ☆小雨決行

場所：りんどろ広場 ※ 一般の方の参加も若干名受付ます。

参加ご希望の方は、赤シャツ親父(e-mail: tomizo_i@nifty.com)までご連絡下さい。

